

経営比較分析表（令和6年度決算）

兵庫県北播磨総合医療センター企業団 北播磨総合医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	34	対象	ド透I訓ガ	救臨が地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	38,109	非該当	非該当	7：1

※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

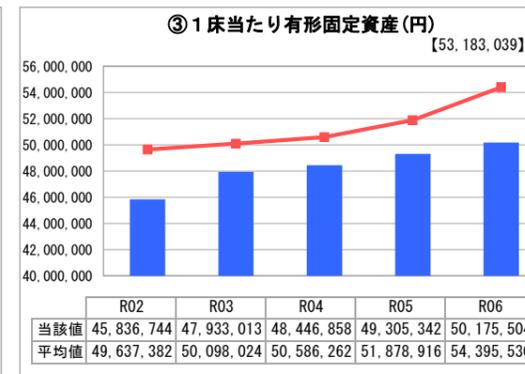
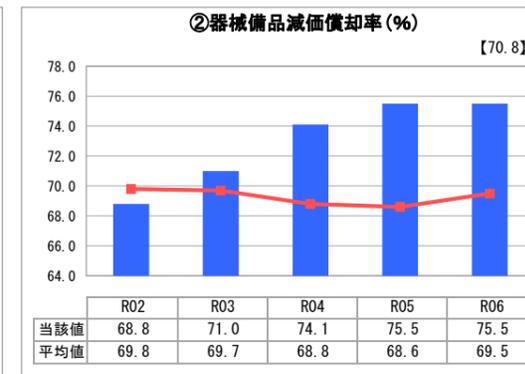
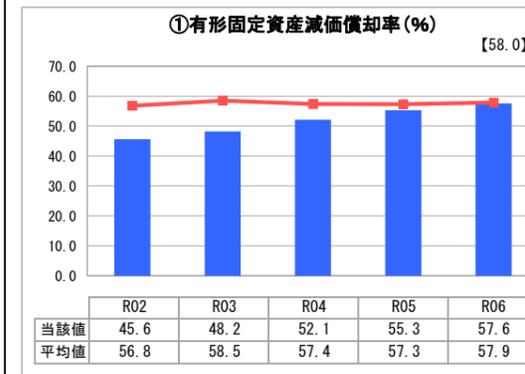
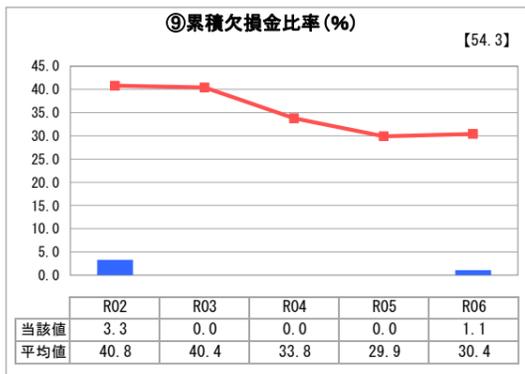
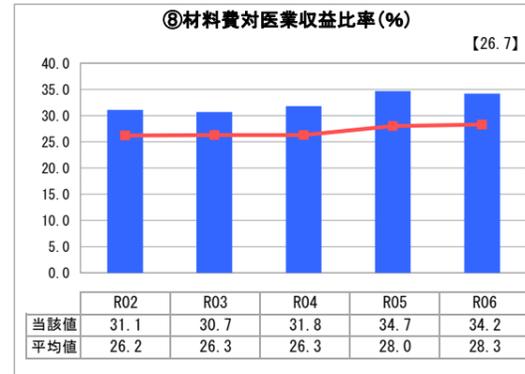
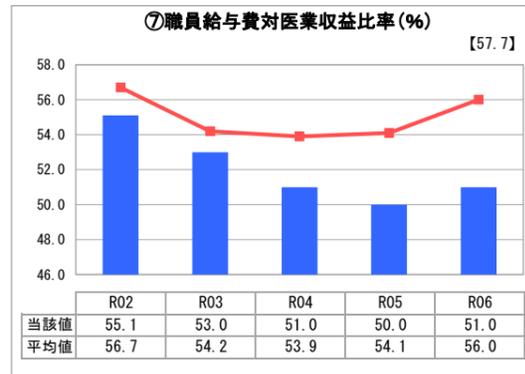
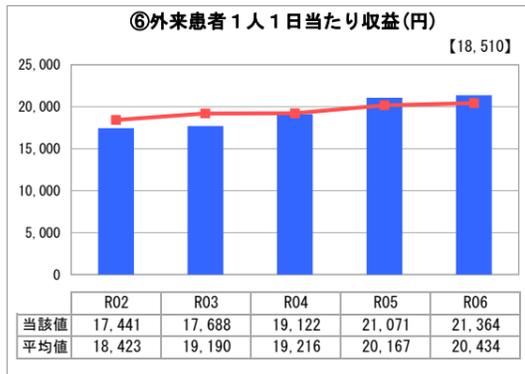
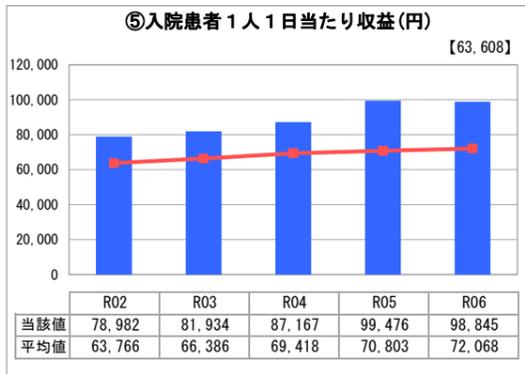
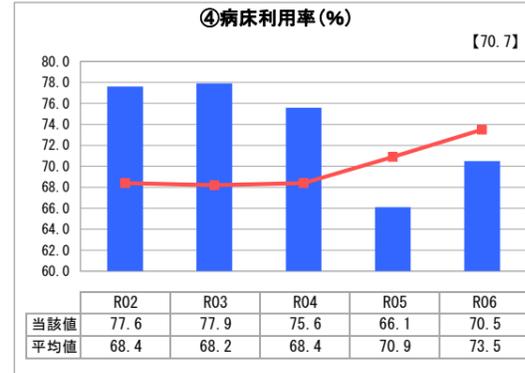
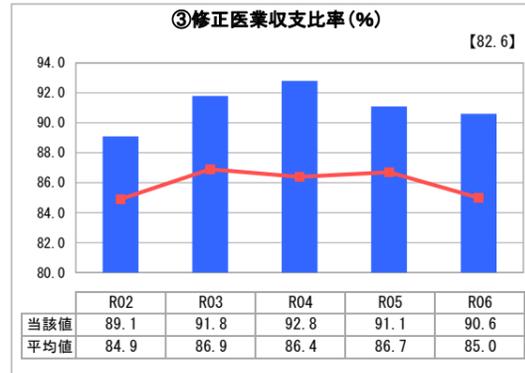
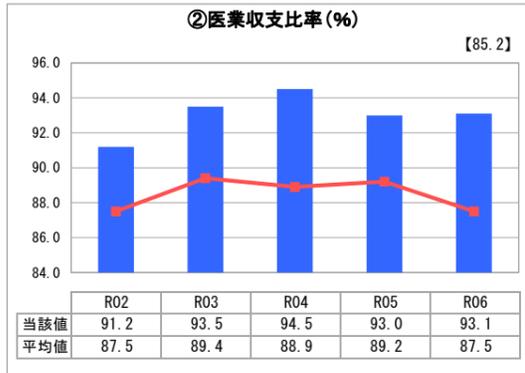
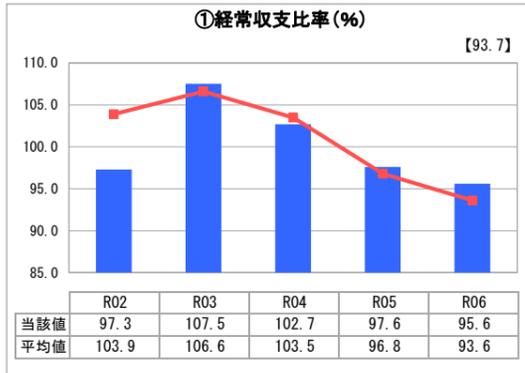
※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
450	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	450
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
390	-	390

グラフ凡例

- 当該病院値（当該値）
- 類似病院平均値（平均値）
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 (従来の再編・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
令和6年度	-年度	-年度

I 地域において担っている役割

地域の基幹病院として急性期医療（ER救急、小児救急、急性期心疾患、脳卒中、がん診療、周産期）を担うとともに、専門的で高度な医療の提供を行っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

入院患者1人1日当たり収益及び外来患者1人1日当たり収益は類似病院並びに全国平均を上回る高い単価を維持している。また、看護師確保対策に積極的に取り組み、閉鎖していた病床を順次再開することにより、病床利用率も前年度と比較して向上した。一方で、燃料費等の物価や人件費等の上昇に伴う経費の急激な増加により、累積欠損金が発生する等、依然として厳しい経営状況となっている。

2. 老朽化の状況について

平成25年10月の開院以来、有形固定資産減価償却率は年々増加している。開院時に取得した器械備品は、償却期間が順次満了しており、器械備品減価償却率が類似病院及び全国平均と比較して高値となっているが、今後は高額医療機器の更新等のタイミングで当該比率は下がることが予測される。また、1床当たり有形固定資産は年々増加しているものの、類似病院及び全国平均よりも低い状況にある。

全体総括

令和6年度の診療報酬改定は、当医療センターにとって実質的なマイナス改定となり、収益が人事院勧告に伴う給与アップや物価の急上昇に追いつかず、大変厳しい経営状況となっている。そんな中、看護師確保については、新規採用に加え、離職防止対策にも積極的に取り組んだ結果、令和5年3月より閉鎖していた病床のうち、27床を令和6年度中に再開することができた。引き続き、感染拡大防止の徹底、地域の医療機関との連携強化を図るとともに、病床の運用再開に向けた看護師確保対策を実施しながら、地域で完結する切れ目のない質の高い医療が提供できるよう、持続可能な安定した経営基盤の確立に努める。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。